

**令和5年度 耳取遺跡アクセス道路予定地内試掘調査
支援業務委託 特記仕様書**

見 附 市

1 調査実施場所等

- (1) 施工場所：見附市名木野町地内（史跡耳取遺跡・岩沢遺跡周辺）
- (2) 立地場所：丘陵斜面地

2 調査委託期間等

- (1) 委託期間：契約締結日～令和6年1月31日
- (2) 調査期間：契約締結日～令和5年11月上旬（このうち2週間程度を予定）
※ただし天候や施工地の状況、発掘調査の進捗等によって、変更が生じる場合がある。

3 調査体制等

- (1) 調査時間：8時30分～16時30分（12:00～13:00は昼休憩）
※天候・気温・作業内容等に応じて休憩をとる。
※休憩は北谷公民館の1室を使用する。
- (2) 調査体制：1班体制
※発掘調査には調査担当者として見附市まちづくり課文化係（見附市民俗文化資料館）の職員1名が常駐して従事する。
- (3) 現場代理人：1人
※現場代理人は、調査担当者の指示に従って安全管理・危険防止の活動を行う。また、現場代理人は以下の資格を全て有する者とする。
 - 建設業法第26条第1項に規定する主任技術者の資格
 - 地山掘削作業主任者
 - 土止め支保工作業主任者
- (4) 作業員は発掘調査現場において調査・掘削・復旧等の作業に従事する。

4 業務内容

(1) 事前準備

- ① 調査担当者と受託者は、調査予定地にて現地打ち合わせを行う。
- ② 調査予定日に滞りなく調査が実施できるよう、受託者は必要機材・人員等を準備する。

(2) 現地調査

- ① 調査担当者の指示により、発掘対象地内に試掘坑としてトレンチを設定し、人力により掘削・精査を行う。調査終了後、人力でトレンチを埋め戻す。トレンチの

大きさは平面規模が最大2m×20m、深さが約0.6～1.5mである。掘削は出土遺物や遺構（建物や井戸など構築物の跡）の有無等を確認しながら慎重に行う。

- ② 多数の出土遺物や遺構が確認された場合など、必要に応じて精査を行う。
- ③ 上記の掘削作業のほか、作業員は調査担当者がトレンチの位置、土層堆積状況、遺構検出状況などを図面・写真などに記録する際の補助を行う。
- ④ 出土遺物等は、調査担当者がトレンチ・層位を記録して収納するが、その補助を行う。

5 業務履行について

- (1) 調査担当者は、原則として本業務の履行期間は業務について指揮・監督する。調査の段階確認は調査担当者が立ち会うものとし、調査担当者の確認を受けずにして、次の工程に進んではならない。
- (2) 契約内容変更の要否については、委託者と受託者の双方が協議して決定する。
- (3) 本仕様書は業務の概要を定めたものであり、本仕様書に記載されていない軽微な業務については、双方協議の上行うものとする。

6 検査及び業務成果品の提出

- (1) 受託者は、業務が完了したときは、速やかに完了届を委託者に提出し、調査担当者から業務が完了したことを確認するための検査を受けなければならない。
- (2) 調査担当者は、受託者から承認もしくは立会い等を求められたときは、遅滞なくこれに応じなければならない。

(3) 業務成果品

- ・成果品は次のとおりとする。ただし、委託者と受託者で協議の上で必要と認められるものは、別途追加するものとする。

※（公財）新潟県埋蔵文化財調査事業団の様式に準じるものとする。

※納入成果品は原則として正副2部を納品すること。（測量データは3部）

- ① 作業日報
- ② 作業員出勤表（月別）
- ③ 使用機材等一覧表（月別）・総括表
- ④ トレンチ平面測量データ（座標一覧エクセルデータ、ai または dxf 平面図）

7 その他

- (1) 作業員は丘陵傾斜地での調査に耐えられるだけの体力と健康、勤勉であることを前提とする。
- (2) ジョレンやスコップなど大型の発掘道具は見附市が用意する。